

村の肖像

山と川から見た「にいがた」

写真と動画による記憶への旅、

あの日、あの時、

私たちはこんなに自由だった。

2019年

1月19日(土) - 3月21日(木祝)

開館時間 9:30 - 17:00 休館日 毎週月曜日(月曜祝日の場合は翌日)

観覧無料 2018年度冬季企画展 ※常設展の観覧は有料

主催：新潟県・新潟大学ミュージアム連携ネットワーク、新潟県立歴史博物館、新潟県立図書館、新潟県立文書館、新潟大学、新潟日报社、NST



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History

平成30年度 文化庁 地域と共働した
美術館・歴史博物館創造活動支援事業



村の肖像

山と川から見た「にいがた」

暮らしのなかのあしたの遊び、
懐かしい気流のおと、かぜにいろの丘



中俣正義撮影：1955年5月 新潟県南魚沼市六日町



齋藤勲撮影：1959年7月 新潟県魚沼市(入広瀬村)

表面写真：1956年頃 福島県大沼郡金山町中川小学校

展示の流れ

- おとなのあそび
- 山と川の仕事
- 暮らしと動物
- 結婚と葬式
- こどもの世界
- 織物の仕事
- 人びとの肖像

新潟大学人文社会科学系附置地域映像アーカイブ研究センターでは、県内各地の写真や映画などの映像を新潟という地域の文化遺産として捉え直して発掘、デジタル化し、アーカイブとして保存活用できるようにしてきました。今回、その成果を大学・博物館・図書館・文書館などの連携のもと、山と川に囲まれた中山間地域に住む人びとが自ら記録してきた「にいがた」という視点から紹介します。

にいがた地域映像アーカイブとは

教育・研究に関わる MALUI (博物館・文書館・図書館・大学・産業界) では、新聞・書籍・動画・写真・音源などのデジタル化を行い、文化資源化することを課題としています。これらの文化資源活用の効率性・利便性を高め可能性を広げていくために、広く県内全体の文化資源を一元的に管理公開するべく MALUI 連携による統合データベースを構築しました。

にいがた MALUI 連携地域データベース
<http://arc.human.niigata-u.ac.jp/malui/>

詳細は、上記「にいがた MALUI 連携地域データベース」の「ご利用方法」をご覧ください。

関連イベント

無料・要事前申込 ▶

Tel: 0258-47-6135
Email: koryu@nbz.or.jp

講演会 「MALUI 連携による地域資料の共有化へ —デジタルアーカイブによって何ができるのか—

日時：2019年1月19日(土) 13:30～15:00 会場：当館 講堂 (150名)
講師：原田健一(新潟大学)、水島久光(東海大学)

トークイベント 司会：原田健一

- ① 講師：土田ヒロミ(写真家) × 飯沢耕太郎(写真評論家) × 大倉 宏(砂丘館)
日時：2019年3月3日(日) 13:00～15:00 会場：当館 講堂 (150名)
- ② 講師：石田佐恵子(大阪市立大学) × 高倉浩樹(東北大学) × 榎本千賀子(写真家)
日時：2019年3月10日(日) 13:00～15:00 会場：当館 講堂 (150名)

パフォーマンス・ワークショップ 出演：堀川久子(舞踊家) ほか

- ① 踊りと音楽によるパフォーマンス
「あの日、あの時、私たちはこんなに自由だった」
日時：2019年3月9日(土) 13:30～15:00 会場：当館 企画展示室
- ② 小学生参加プロジェクト「からだは面白い、からだで遊んでみよう」
対象期間：2019年2月 会場：当館 企画展示室 ※学校団体・個人対象

小学3・4年生むかしの暮らしプログラム ※学校団体対象

講師：北村順生(立命館大学)
対象期間：2019年1月下旬～3月上旬(平日) 会場：当館 企画展示室

交通のご案内



- 新幹線・在来線：JR長岡駅下車
- バス：JR長岡駅大手口7番線「県立歴史博物館」行き(約40分)
- タクシー：JR長岡駅大手口より、約30分
- 車：関越自動車道 長岡ICで降り、国道8号線柏崎方面へ5つ目の信号、関原5丁目交差点で左折後、約1.3km

新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂 2247-2
Tel: 0258-47-6130 Fax: 0258-47-6136
Email: office@nbz.or.jp <http://nbz.or.jp/>



協力：阿賀野市立吉田東伍記念博物館、魚沼市教育委員会、十日町市教育委員会、南魚沼市教育委員会、福島県金山町教育委員会、記録映画保存センター

後援：朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、日本経済新聞社長岡支局、産経新聞新潟支局、長岡新聞社、BSN 新潟放送、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0、FM KENTO、FM ながおか 80.7、新潟史学会、新潟県考古学会、新潟県民具学会、新潟県民俗学会、新潟県高等学校文化連盟、(株)東京光音、(株)新潟フジカラー、(株)ピクトリコ